

< 自己評価1回目 > ※黄色のセルをすべて記入してください。

項番	1	総事業 項目数	1
----	---	------------	---

整理番号	2025M-	111	補助事業者名	(福)永仁会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	--------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4／5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	10	月	15	日	作成者	岡田 春紀
-----	------	---	----	---	----	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3／5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	特殊浴槽一式(寝台浴・担架・電動ストレッチャー)の導入				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	計画どおりの体制(メンバー)で、機種選定委員会の立ち上げ、導入する機器の選定、参加業者の選定を順調に進められたこと、また見積合わせで購入業者を決定したことにより、スケジュール面で事前計画を超える事業を実施することができた。			採点 4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 導入年月 2025年9月	[達成状況] 167%	[具体的内容] 2025年9月に導入。 導入まで10か月かかる予定だったが、6か月で達成。 なお、メーカーによる説明会を納品日に行い、納品日翌日から利用を開始した。	採点 5
	事業の成果・波及	[達成値] 利用件数 16件/週	[達成状況] 100%	[具体的内容] 1日あたり2～3人の利用者を、6日間(月曜日から土曜日まで)、導入した特殊浴槽で入浴していただく予定を立て実施した結果、想定していた利用件数16件/週の目標を達成した。	採点 4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 施設内に事業完了後2か月以内に掲示 2. ホームページに事業完了後2か月以内に掲載	[達成状況] 1. 100% 2. 100%	[具体的内容] 1. 9月10日に施設内に導入した特殊浴槽一式について掲示した。 2. 9月13日に法人のホームページに導入した特殊浴槽一式について掲載した。	採点 4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1. 施設内に事業完了後2か月以内に掲示 2. ホームページに事業完了後2か月以内に掲載	[達成状況] 1. 100% 2. 100%	[具体的内容] 1～2. 上記の掲示物・掲載ページに競輪の補助金を受けて実施した事業であることを明示した。	採点 4
(5) 自己評価の体制	機種選定委員会(業者決定後)の際に評価委員会の立ち上げを決定していたため、計画どおり評価委員会を開催し評価を行い、議事録(評価過程の記録)を作成した。 自己評価結果の公表は、完了報告書の受理が確認でき次第、ホームページに掲載する。				採点 4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	ご利用者に適した機械浴を整備したことで、ご利用者に安心安全な入浴を提供できただけでなく、職員にとっても安心して入浴介助を行える環境となったと思われる。 また、職員から使用始めて間もないが体への負担が多少は軽減されたと話があったことから、入浴介助による疲労の蓄積が軽減されることを期待している。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	特別養護老人ホーム等整備補助事業を担当したことがある職員が本事業を担当したことで、補助事業に対するノウハウがあり先を見据えて手続きが進められた。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	購入に多額の費用を要する特殊浴槽は、そのとき入所されているご利用者に適したものを簡単に導入できるものではないが、競輪とオートレースの補助事業者として採択(補助金を交付)していただけたので、先延ばしすることなく導入を進めることができ、大変感謝しております。

【福祉機器・医療機器】

整理番号	2025M-	111	補助事業者名	(福)永仁会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	--------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5／5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な 物資等の確保)		
	＊		(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)	見積合わせて購入業者を決定できたこと。	
	＊		(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)	特別養護老人ホーム等整備補助事業を担当したことがある職員 が事業のほぼすべての実務を進めたこと。	
			(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
			(16) 特になし		